

平成31年度

公益社団法人 伊勢市観光協会

事業計画書

公益社団法人伊勢市観光協会

**公益社団法人伊勢市観光協会**  
**平成31年度 事業計画**

昨年は記録的な酷暑に見舞われたものの夏のインターハイは大過なく無事開催され、全国から大勢の高校生やご家族、関係者に当地を訪れて頂きました。修学旅行数が減少し子供たちの旅の思い出から伊勢志摩の影が薄れてしまっていることを考えると、今回訪れてくれた若い方たちにこの地を知って貰った事は大いに意義のある事と考えます。再来年に開催される三重国体に向け、若者たちのスポーツを機会にした来訪をますます増やして行きたいものです。

一方昨年は酷暑だけでなく様々な気候の変動、災害の激甚化に悩まされた年でもありました。西日本豪雨では中国・四国地方に多くの被害が出ましたし、台風21号は強い勢力を保ったまま関西地方を直撃、関西空港が長期に渡って使用不能になる等大きな被害がありました。主要な交通機関の被災や復旧の長期化はインバウンドや直接被害が及ばなかった地域への観光動員にも大きな影響を及ぼします。また北海道胆振地震や過去の熊本地震では風評価被害により長く客足に影響が続いていると伝えられています。今後も災害が各地を襲うであろうことを考えると、年間800万人を上回るお客様をお迎えする日本有数の観光地として、この伊勢志摩も相応の備えをして行く必要があると考えます。

新天皇陛下の御即位に伴う改元のお祝い、東京オリンピック開催へ向けたインバウンド客数の増大、新名神道の開通に抛る慢性的交通渋滞の緩和と云った明るい材料を安心への備えで下支えして行きましょう。

今年度の伊勢市観光協会は引き続き伊勢の魅力を広く発信しながら諸行事を通してお客様の満足を高め、この地域への入れ込み客数を拡大させて行く様努めて参ります。また頻発する災害を視野に入れながら、近隣の観光協会や行政とも連携し知恵を出し、観光客がより安心して訪れられる観光地を目指して参ります。情報発信部会、おもてなし行事部会、青年部の各部会には国内外の誘客事業や伊勢に於ける受け入れ事業の実施、また特に今年度はインバウンド客を視野に入れたキャッシュレスシステムの研究・普及に取り組んで頂きます。中期政策検討部会には引き続き協会の財務体質強化や収益事業の見直しを行って頂きます。また協会全体の取り組みとしてより一層の会員拡大を図って行きたいと考えています。皆さんの力を結集し新しい仲間を増やして行きましょう。

本年度も会員各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人伊勢市観光協会  
会 長 濱田 典保

## <公益目的事業－旅客誘致事業>

### 1 広報宣伝事業（情報発信部会）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

伊勢の知名度をさらに高め、多様化している国内外観光客のニーズに対応できる観光情報を提供できるホームページやメールマガジン等の充実を図ります。また、SNS（Social Networking Service、コミュニティ型の会員制のサービス）を活かしたリアルタイム情報の提供を行います。リニューアルが終了した日本語ホームページに続き、多言語ホームページの改修を行い、海外へ情報発信ツールとして、充実を図ります。

日本観光祈願祭及び観光振興伊勢会議については、実行委員会内で内容を精査しより良い事業を目指します。

観光御師及び観光大使事業においては、現状の組織の他に全国規模の新たなネットワーク組織の充実を図ります。青年部事業の伊勢のファンクラブ事業では、会員証を使用した特典の充実、ペーパーレス化に向けた施策、ファンクラブ会員の来勢、情報発信できる仕組み作りを推進します。同じくマスコットキャラクター事業においてはキャラクターの活躍の場を増やし、効果的な情報発信に繋がります。

外国人観光客へのPR事業に関しましては、タイ、シンガポールでの現地観光PRを企画しており、三重県・伊勢市・各団体と協力しながら事業を進めます。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供  
(情報発信部会・青年部)
2. SNS等を活用した観光情報提供（情報発信部会・青年部）
3. 観光案内所における観光情報の提供（案内所）
4. 「お伊勢さん観光ガイドの会」によるメディア等取材協力（おもてなし行事部）
5. 行政との観光パンフレットの共同作成及び配布事業（情報発信部会）
6. 観光物産展等の物品販売事業と連動したPR誘客活動（青年部）
7. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
8. 観光大使及び御師と連携し、口コミ等による全国発信の強化（情報発信部会）
9. 伊勢のファンクラブ事業（青年部）
10. 第52回日本観光祈願祭の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
11. 第15回観光交流伊勢会議の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
12. マスコットキャラクター事業（青年部）
13. 外国人観光客へのPR事業（情報発信部会）
14. 常若婚事業（中期政策検討部会）
15. その他広報宣伝事業

## 2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部）

伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり会社など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

観光案内所の運営については来訪者のニーズに細やかに対応できる案内所を目指し更なる改善を目指します。レンタサイクル事業に関しては事業の検証を行い、利用促進を図ります。ボランティアガイド事業に関しては、ガイドの会との協議を進めガイド活動の円滑化を目指します。

外国人誘客（インバウンド）事業では、インバウンド委員会を中心に海外からの誘客を考えていきます。

手荷物事業では、新たに開設した外宮前観光案内所での手荷物預り所及び全体的な利用促進を図ると共に新たなサービスの開発・提案、そして事業の検証と改善を行います。観光振興研修事業は広く参加者を募集し、事業者のおもてなしに関するスキルアップに貢献します。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部）
2. 観光案内所の運営（案内所）
3. 「お伊勢さん観光ガイドの会」事業（ガイドの会、おもてなし行事部）
4. 首都圏等への旅客誘致推進事業（全体事業）
5. 各種大会等の誘致接遇（おもてなし行事部）
6. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
7. 伝統芸能振興協力（事務局）
8. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会）
9. 行政並び関係機関との次期御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
10. 伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前観光案内所における手荷物事業（中期政策検討部会）
11. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
12. その他

## 3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究と様々な実験事業の試行、協力を行います。伊勢の食文化調査企画事業では昨年度高校総体関係者向けに作成し、好評を得た夜の飲食店マップ「伊勢の夜なに食べよ・なに呑もか」の増刷を行います。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 観光大使及び観光御師制度の充実の為の企画調査（情報発信部会）

3. 先進観光地の研究、視察  
(青年部、おもてなし行事部、情報発信部会、中期政策検討部会)
4. 外宮周辺の活性化対策への協力(青年部、おもてなし行事部)
5. 伊勢の食文化調査企画事業(青年部)
6. 青年部活動と協働(青年部、親会)
7. 観光振興研修事業
8. その他

#### 4 観光施策及び共催事業(おもてなし行事部、青年部)

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 春まつり及び桜開き式(おもてなし行事部)
2. 伊勢神宮奉納全国花火大会(おもてなし行事部)
3. 二見浦海水浴場浜開き式(おもてなし行事部)
4. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催(おもてなし行事部)
5. 初穂曳への協力(おもてなし行事部)
6. 冬至の奉納(おもてなし行事部)
7. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈(おもてなし行事部)
8. 伊勢楽市(春・秋)開催協力(青年部)
9. 参宮木札事業への協力(事務局)
10. 御幣鯛奉祝事業(おもてなし行事部)
11. 行政との観光PR企画事業(情報発信部会、青年部)
12. 伊勢まつりへの協力(おもてなし行事部)
13. その他各種団体行事への協力(おもてなし行事部)

#### 5 関連団体への協力及び事業の推進

関連団体の中枢会員として、観光振興に関わる事業への協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢志摩地域の関係団体等との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。本年度は、天皇陛下の御譲位と御即位に関連した奉祝行事にも協力し、伊勢からの情報発信及び誘客に繋がります。

以下の事業団体へ協力及び事業推進を図ります。

1. 伊勢商工会議所
  - ・ 中心市街地活性化協議会
  - ・ 伊勢うどん協議会
  - ・ おかげ参り推進会議

- ・夜の賑わい創出実行委員会
- 2. (公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構
  - ・伊勢志摩学生団体誘致委員会
  - ・伊勢志摩観光企画委員会
  - ・伊勢志摩フィルムコミッション
  - ・伊勢志摩インバウンド会議 (仮称)
- 3. (一財) 伊勢志摩国立公園協会
- 4. (公社) 三重県観光連盟
- 5. 伊勢市国際交流協会
- 6. (公社) 日本観光振興協会
- 7. 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会
- 8. 伊勢まちづくり株式会社
- 9. 伊勢青年団体連絡協議会
- 10. おもてなしヘルパー推進会議
- 11. 伊勢地域観光交通対策協議会
- 12. いせでわDMO (山形県主導事業)
- 13. 御大礼奉祝委員会・御大礼奉祝実行委員会
- 14. その他団体との協力、連携

## 6 協賛または後援行事

伊勢市内で開催される各種行事の観光誘致事業については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋)
3. 二見浦さくらまつり
4. 二見大祭しめなわ曳
5. 外宮奉納市
6. 外宮さんゆかたで千人お参り
7. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
8. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
9. 伊勢市民まつり
10. おひなさまめぐり in 二見
11. 全日本大学駅伝対校選手権大会
12. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦
13. 伊勢神宮奉納書道展
14. お伊勢さんマラソン大会
15. 松尾観音寺初午祭
16. 神宮奉納大相撲
17. 金剛證寺開山忌

- 18. 伊勢高柳の夜店
- 19. その他 協会が認める観光事業

## 7 市受託（入札）事業（おもてなし行事部、中期政策検討部会）

伊勢市から下記3事業を受託し事業を行う予定です。

### 1. 観光案内所

伊勢市駅構内・宇治山田駅構内・外宮前・二見浦・宇治浦田の運営を通し国内外から訪れ観光客に必要な情報提供や、おもてなしを行います。各種誘客キャンペーン事業にも協力を行い伊勢志摩全体への周遊拠点の役割担います。

### 2. 二見浦海水浴場の運営（おもてなし行事部）

日本初の公認海水浴場の管理運営を行います。イベント等の開催も企画を検討し、減少する海水浴場利用者の増加を目指します。

### 3. 伊勢市ふるさと応援寄附金 PR および発送業務（中期政策検討部会）

伊勢市ふるさと応援寄附金寄附者への返礼品発送業務等の受託を目指します。また、返礼品の充実や PR 業務も行います。

## <収益事業>（中期政策検討部会、青年部）

公益目的事業遂行の為の資金調達及び誘客の為の情報発信を目的として下記の事業を行います

### 1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業を推進します。

### 2 物品販売事業（青年部、中期政策検討部会）

「伊勢乃国発ええじゃないか便」を使った情報発信と収益事業。インターネット通販の拡充と各地イベントなどへの出店をしていきます。伊勢市ふるさと応援寄附金については、行政共に広報の拡大や返礼品の商品拡充を図ります。

### 3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行、青年部におけるインターネットを使用した会員の情報発信ウェブサイトの充実や、会員互助事業企画等を考えていきます

## <本部事業>

### 1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。本年度は事業等の統廃合などの見直しを進め、コスト削減や運営の効率化を図ります。さらに先進地への研修なども視野にいれ健全な協会運営に役立てます。

## 収支予算書(正味財産増減予算書)

2019年4月1日から2020年3月31日

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	11,160,000	10,800,000	360,000
②事業収益			
貸貸収入	6,940,000	6,680,000	260,000
物品販売収入	22,100,000	18,850,000	3,250,000
受託事業収入	39,419,238	40,261,000	△ 841,762
手荷物預り事業収入	5,610,000	4,500,000	1,110,000
バナー広告収入	1,700,000	1,700,000	0
事業収益計	75,769,238	70,291,000	5,478,238
③受取負担金			
受取負担金	30,694,416	33,255,300	△ 2,560,884
④受取寄付金			
受取寄付金振替額	2,431,275	2,431,275	0
⑤雑収益	3,013,000	2,818,000	195,000
経常収益計	123,067,929	121,295,575	1,772,354
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	2,400,000	2,400,000	0
給料手当	9,549,240	9,902,400	△ 353,160
臨時雇賃金	22,560,000	22,283,200	276,800
退職給付費用	174,476	319,600	△ 145,124
福利厚生費	5,938,260	5,777,200	161,060
旅費交通費	4,322,940	5,943,300	△ 1,620,360
通信運搬費	3,587,520	3,254,400	333,120
建物減価償却費	1,497,100	1,461,000	36,100
建物附属設備減価償却費	68,600	86,600	△ 18,000
構築物減価償却費	33,800	33,800	0
消耗品費	3,389,500	3,258,600	130,900
修繕費	780,500	438,500	342,000
印刷製本費	11,289,400	13,104,600	△ 1,815,200
燃料費	0	80,000	△ 80,000
光熱水料費	701,800	781,800	△ 80,000
賃借料	2,157,020	2,103,200	53,820
保険料	397,000	325,000	72,000
諸謝金	615,000	1,015,000	△ 400,000
租税公課	3,808,930	4,009,000	△ 200,070
支払負担金	2,133,160	2,171,200	△ 38,040
委託費	16,896,554	16,325,900	570,654
会議費	1,187,500	1,367,600	△ 180,100
渉外費	332,000		332,000
物品仕入高	17,350,000	13,000,000	4,350,000
雑費	1,814,500	2,603,800	△ 789,300
事業費計	112,984,800	112,045,700	939,100



科 目	予算額	前年度予算額	増 減
②管理費			
役員報酬	1,600,000	1,600,000	0
給料手当	2,650,760	2,497,600	153,160
退職給付費用	71,024	80,600	△ 9,576
福利厚生費	781,740	793,000	△ 11,260
会議費	107,500	77,400	30,100
旅費交通費	64,500	86,000	△ 21,500
通信運搬費	430,000	399,900	30,100
建物減価償却費	1,469,200	1,425,100	44,100
建物附属設備減価償却費	83,700	105,800	△ 22,100
構築物減価償却費	41,200	41,200	0
消耗品費	172,000	202,100	△ 30,100
修繕費	279,500	21,500	258,000
印刷製本費	43,000	77,400	△ 34,400
燃料費	80,000	0	80,000
光熱水料費	103,200	103,200	0
賃借料	380,980	339,700	41,280
保険料	86,000	86,000	0
租税公課	365,500	365,500	0
支払負担金	80,900	80,900	0
委託費	515,700	515,700	0
渉外費	43,000	0	43,000
雑費	150,500	215,000	△ 64,500
管理費計	9,599,904	9,113,600	486,304
経常費用計	122,584,704	121,159,300	1,425,404
評価損益等調整前当期経常	483,225	136,275	346,950
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	483,225	136,275	346,950
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増	483,225	136,275	346,950
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	411,225	64,275	346,950
一般正味財産期首残高	52,338,730	52,274,455	64,275
一般正味財産期末残高	52,749,955	52,338,730	411,225
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	2,431,275	2,431,275	0
寄付金振替額(指)	2,431,275	2,431,275	0
当期指定正味財産増減額	△ 2,431,275	△ 2,431,275	0
指定正味財産期首残高	86,110,276	88,541,551	
指定正味財産期末残高	83,679,001	86,110,276	
III 正味財産期末残高	136,428,956	138,449,006	△ 2,020,050

## 収支予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

2019年4月1日から2020年3月31日

単位(円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費				
正会員受取会費	5,400,000	250,000	5,510,000	11,160,000
②事業収益				
貸貸収入	3,460,000	3,480,000	0	6,940,000
物品販売収入	0	22,100,000	0	22,100,000
受託事業収入	38,779,238	640,000	0	39,419,238
手荷物預り事業収入	5,610,000	0	0	5,610,000
バナー広告収入	1,700,000	0	0	1,700,000
事業収益計	49,549,238	26,220,000	0	75,769,238
③受取負担金				
受取負担金	24,414,416	0	6,280,000	30,694,416
④受取寄付金				
受取寄付金振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
⑤雑収益	1,970,000	1,041,000	2,000	3,013,000
経常収益計	81,819,909	28,118,819	13,129,201	123,067,929
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	2,240,000	160,000		2,400,000
給料手当	8,994,760	554,480		9,549,240
臨時雇賃金	22,560,000	0		22,560,000
退職給付費用	171,890	2,586		174,476
福利厚生費	5,807,920	130,340		5,938,260
旅費交通費	4,313,940	9,000		4,322,940
通信運搬費	2,067,520	1,520,000		3,587,520
建物減価償却費	592,000	905,100		1,497,100
建物附属設備減価償却費	30,500	38,100		68,600
構築物減価償却費	15,000	18,800		33,800
消耗品費	3,045,500	344,000		3,389,500
修繕費	641,500	139,000		780,500
印刷製本費	11,038,400	251,000		11,289,400
燃料費	0	0		0
光熱水料費	652,400	49,400		701,800
賃借料	1,953,860	203,160		2,157,020
保険料	378,000	19,000		397,000
諸謝金	615,000	0		615,000
租税公課	2,585,360	1,223,570		3,808,930
支払負担金	2,121,880	11,280		2,133,160
委託費	15,534,602	1,361,952		16,896,554
会議費	1,172,500	15,000		1,187,500
渉外費	326,000	6,000		332,000
物品仕入高	0	17,350,000		17,350,000
雑費	1,683,500	131,000		1,814,500
事業費計	88,542,032	24,442,768		112,984,800

科目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
②管理費				
役員報酬			1,600,000	1,600,000
給料手当			2,650,760	2,650,760
退職給付費用			71,024	71,024
福利厚生費			781,740	781,740
会議費			107,500	107,500
旅費交通費			64,500	64,500
通信運搬費			430,000	430,000
建物減価償却費			1,469,200	1,469,200
建物附属設備減価償却費			83,700	83,700
構築物減価償却費			41,200	41,200
消耗品費			172,000	172,000
修繕費			279,500	279,500
印刷製本費			43,000	43,000
燃料費			80,000	80,000
光熱水料費			103,200	103,200
賃借料			380,980	380,980
保険料			86,000	86,000
租税公課			365,500	365,500
支払負担金			80,900	80,900
委託費			515,700	515,700
渉外費			43,000	43,000
雑費			150,500	150,500
管理費計	0	0	9,599,904	9,599,904
経常費用計	88,542,032	24,442,768	9,599,904	122,584,704
評価損益等調整前当期経常	△ 6,722,123	3,676,051	3,529,297	483,225
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,722,123	3,676,051	3,529,297	483,225
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	1,582,800	△ 1,582,800	0	0
税引前当期一般正味財産増	△ 5,139,323	2,093,251	3,529,297	483,225
法人税、住民税及び事業税	0	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,139,323	2,021,251	3,529,297	411,225
一般正味財産期首残高				52,338,730
一般正味財産期末残高				52,749,955
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
寄付金振替額(指)	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
当期指定正味財産増減額	△ 486,255	△ 607,819	△ 1,337,201	△ 2,431,275
指定正味財産期首残高				86,110,276
寄付金				86,110,276
指定正味財産期末残高				83,679,001
寄付金				83,679,001
III 正味財産期末残高				136,428,956

(注) 貸借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみを記載している。

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

【平成 31 年度(平成31年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで)】

### (1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	借入先	金額		用途	

### (2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	